|  |
| --- |
| 第４章　第９期計画の基本理念 |

（１）将来像

身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち

～ずっと吹田で、ずっと元気に～

この将来像は、めざすべき地域包括ケアシステムの構築と、その先に見据えた地域共生社会の実現をめざすとともに、愛着を持って吹田のまちで暮らしていただきたいとの思いを込めています。

（２）第９期計画のめざすところ（将来像達成に向けたロジックモデル）

|  |
| --- |
| 第６章　介護保険サービスの見込量と保険料 |

|  |  |
| --- | --- |
| サービス名 | 第９期必要整備数 |
| 認知症対応型共同生活介護  （認知症高齢者グループホーム） | １か所 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | １か所 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | １か所 |

（１）法的位置付け

・老人福祉法第20条の８の規定に基づく老人福祉計画及び介護保険法第117条第１項の規定に基づく介護保険事業計画を一体的に策定

・共生社会の実現を推進するための認知症基本法の第13条第１項に基づく市町村認知症施策推進計画を含むものとする

|  |
| --- |
| 第１章　第９期計画の概要 |

第９期　吹田健やか年輪プラン（第９期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）ダイジェスト



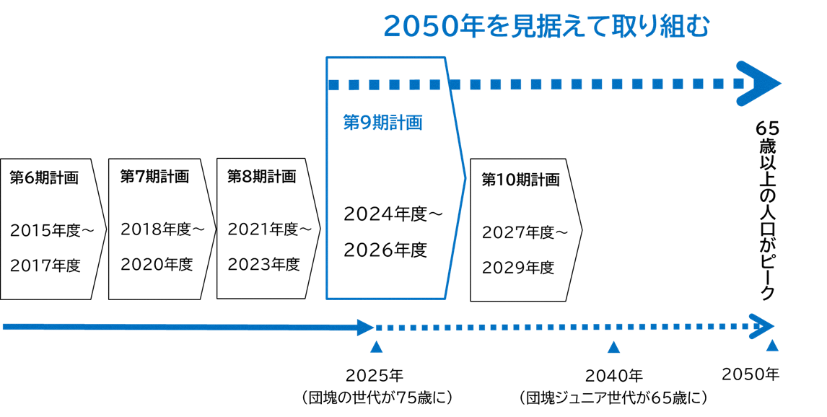
（１）介護給付費の財源構成

（２）計画の期間

2024年度を初年度とした2026年度までの３年間

**最終**

**アウトカム**



**初期アウトカム**

**基本目標**

**中間アウトカム**

（２）要支援・要介護認定者（第１号被保険者）

2050年の要支援・要介護認定者数は28,962人、認定率は23.5％の見込み。

○高齢者が主体的に生きがいづくりを行っています

○多様な地域活動を行うことにより、地域コミュニティの形成が図られています

○スポーツ活動への取組や健康づくりの推進が図られています

○元気なうちから主体的・継続的に介護予防に取り組んでいる市民が増えています 等

★高齢者が生きがいを持って健康に暮らしています

★元気なうちから主体的・継続的に介護予防に取り組んでいる市民が増えています

基本目標１

生きがいと健康づくり

・介護予防の推進

身近な地域で共にいきいきと安心・安全に暮らせるまち～ずっと吹田で、ずっと元気に～



（３）地域密着型サービス事業所の必要整備数

○地域包括支援センターが、地域包括ケアシステムの中核的な機関としての機能を果たしています

○高齢者自身が担い手として活動し、地域で支え合う関係ができています

○在宅医療と介護の連携や在宅医療推進のための環境づくりが進んでいます

○医療と介護が必要になっても最期まで自分らしい暮らしができています 等

★地域包括支援センターが地域包括ケアシステムの中核機関としての機能を果たしています

★医療と介護が両方必要な状態になっても、最後まで自分らしい暮らしができています

（１）65歳以上人口

|  |
| --- |
| 第２章　高齢者を取り巻く状況 |

2050年頃に65歳以上人口はピークを迎え、123,497人、高齢化率は34.7％の見込み。

基本目標２

地域における

支援体制の充実



（４）給付費の総額

第７期計画値（実績値）　843.1億円（768.7億円）

第８期計画値（実績見込）913.9億円（859.9億円）

第９期計画値　　　　　1,017.5億円

第９期計画値　　　　　　XXX.X億円

○認知症の人を地域全体で見守り支えています

○認知症に対する正しい理解が深まっています

○連携支援や、相談機能などが充実し、住み慣れた地域での暮らしを支えることができています 等

基本目標３

認知症施策の推進

★認知症に対する正しい理解が深まり、住み慣れた地域での暮らしを支えることができています

（２）65歳以上の認知症の要支援・要介護認定者数



2023年 10,695人 → 2050年 16,695人

65歳以上人口に占める割合（2050年）13.36％

○安心できる地域での自立した暮らしを支えています

○家族介護者の負担や不安が軽減しています

○安心して必要な介護保険サービスを利用できています

○介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けながら住み慣れた地域で暮らすことができています 等



基本目標４

生活支援・介護保険

サービスの充実

★介護が必要な状態になっても、必要なサービスを受けながら住み慣れた地域で暮らすことができています

（５）65歳以上被保険者の保険料（基準額・月額）

第７期　5,900円　2040年（見込）9,200円程度

第８期　5,980円　2050年（見込）9,600円程度

第９期　6,280円

第９期計画値　　　　　　XXX.X億円



★本人の希望や状況に応じた暮らしができ、安心して暮らすことができています

基本目標５

安心・安全な暮らしの充実

○本人の希望や状況に応じた暮らしができています

○防災・防犯の取組が充実し、安心して暮らすことができています

○高齢者の権利が守られ尊厳ある暮らしが送れています 等

|  |
| --- |
| 第３章　第８期計画の評価と第９期計画の課題 |

第９期計画の課題

１　介護保険サービス基盤の計画的な整備

２　地域包括ケアシステムの深化・推進

３　地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び

介護現場の生産性向上の推進

第８期

2021

｜

2023

第９期

2024

｜

2026

第７期

2018

｜

2020

（裏面）

|  |
| --- |
| 第５章　第９期計画の施策の展開と目標の指標 |

■地域密着型サービス事業所の必要整備数

|  |
| --- |
| 検討中 |

■給付費の総額

第７期計画値（実績値）　XXX.X億円

第８期計画値（実績見込）XXX.X億円

第９期計画値　　　　　　XXX.X億円

■65歳以上被保険者の保険料（月額）

第７期　5,900円

第８期　5,980円

第９期　X,XXX円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 第５章　第９期計画の施策の展開と目標の指標　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ★：第９期計画の重点取組  指標の数字：最終年度の実績未確定分→2026年度目標（※の指標は第８期計画最終年度の目標に対する実績→2025年度目標） | | | | |
| |  | | --- | | 基本目標１  生きがいと健康づくり・介護予防の推進 | |  |   施策の方向１　生きがいづくりの推進  (１)集いの場の充実★  (２)学習・社会参加の推進  (３)地域活動参加への支援★  施策の方向２  生涯を通じた健康づくりの推進  (１)生涯スポーツの推進  (２)健康づくりの推進★  (３)生活習慣病対策の推進★  (４)歯科口腔保健の推進  (５)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施★  (６)その他疾病対策等  施策の方向３　介護予防事業の充実  (１)介護予防の普及啓発の推進★  (２)住民主体の介護予防活動支援の充実★  (３)介護予防事業の充実  第９期計画の主な指標  生きがいがある高齢者※  73.7％→70.0％以上  地域づくりへの参加者としての参加意向※  59.8％→70.0％  成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率  44.3％→65.0％  健康や介護予防のために心がけていることが「特にない」高齢者※  4.0％→0％  75歳以上高齢者の要支援・要介護認定率  32.2％→32.0％以下 | |  | | --- | | 基本目標２  地域における支援体制の充実 | |  |   施策の方向１  地域包括支援センターの適切な運営と機能強化  (１)地域包括支援センターの適切な運営と機能強化★  (２)相談窓口の周知・充実★  施策の方向２　地域での支え合い機能の強化  (１)相談支援の連携体制の構築★  (２)地域における支え合い活動への支援  (３)生活支援体制の整備に向けた仕組みづくりの推進  施策の方向３　在宅医療と介護の連携の推進  (１)在宅療養を支えていくための連携体制の推進★  (２)在宅療養等についての市民啓発の推進★  第９期計画の主な指標  地域包括支援センターの認知度※  38.3％→50.0％  地域づくりへの企画・運営としての参加意向※  36.1％→40.0％  在宅療養支援診療所数  64か所→67か所  人生の最終段階における医療について  話し合ったことがある高齢者※  44.3％→45.0％ | |  | | --- | | 基本目標３  認知症施策の推進 | |  |   施策の方向１　認知症についての啓発  (１)身近な場所での認知症の情報の周知★  (２)認知症サポーターの養成  施策の方向２  認知症の人とその家族への支援  (１)早期発見・早期対応に向けた支援の充実★  (２)認知症の人とその家族への支援の充実  (３)身近な地域での相談や集える場所の確保  施策の方向３  効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進  (１)地域における見守り体制構築に向けた支援★  (２)チームオレンジ等への活動支援★  (３)認知症初期集中支援チームによる取組の推進  (４)認知症地域支援推進員による取組の推進★  (５)支援体制の質の向上  第９期計画の主な指標  認知症に関する相談窓口の認知度※  23.9％→25.0％  認知症サポーター養成講座受講者数  28,386人→37,466人  みまもりあいアプリダウンロード数  7,799件→12,700件  認知症カフェがある中学校区数  13校区→18校区  チームオレンジ設置数（2024年3月時点）  　　　 　　　　　　　　　　　 1件→15件  認知症初期集中支援チームが  医療介護保険サービスにつないだ割合  94.7％→90.0％以上 | |  | | --- | | 基本目標４  生活支援・介護保険サービスの充実 | |  |   施策の方向１  自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着  (１)自立支援型ケアマネジメントの啓発  (２)自立支援型ケアマネジメントの事業者への浸透・定着★  施策の方向２高齢者安心・自信サポート事業の充実  (１)多様な主体による生活支援の充実に向けた支援  (２)通いの場の充実に向けた支援  施策の方向３在宅高齢者と家族介護者への支援  (１)自立した在宅生活への支援  (２)家族介護者への支援の充実★  (３)介護離職防止に向けた取組の推進  施策の方向４介護保険サービス利用者の支援の充実  (１)介護保険制度の情報提供の充実  (２)低所得者支援の充実  施策の方向５  介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進  (１)介護人材確保策の推進★  (２)介護保険サービスの質の向上と介護給付適正化  (３)地域密着型サービス等の整備★  第９期計画の主な指標  救急医療情報キット延べ配布数  16,647人→19,047人  介護を理由に退職した介護者※  12.4％→0％  介護保険サービスに満足している利用者※  56.9％→60.0％以上  認知症対応型共同生活介護  19か所→22か所  看護小規模多機能型居宅介護  2か所→3か所  定期巡回・随時対応型訪問介護看護  3か所→4か所 | |  | | --- | | 基本目標５  安心・安全な暮らしの充実 | |  |   施策の方向１  高齢者の住まいの安定確保に向けた支援  (１)住み慣れた家で暮らし続けるための支援の提供  (２)高齢者向け住まいの支援★  (３)高齢者向け住まいの供給と質の確保・向上  施策の方向２　安心・安全な生活環境の推進  (１)バリアフリー化の推進  (２)交通安全の推進  施策の方向３　防災・防犯の取組の充実  (１)地域における防災力向上の推進  (２)減災に向けた取組の推進  (３)地域における防犯力向上の推進  (４)消費者被害や特殊詐欺被害の防止に向けた取組の充実★  (５)高齢者福祉施設等における防災・防犯・感染症対策への支援★  施策の方向４　権利擁護体制の充実  (１)高齢者虐待防止に向けた取組の推進★  (２)成年後見制度の利用促進  第９期計画の主な指標  居住支援協議会の相談件数（2023年9月末時点）  28件/年→200件/年  特殊詐欺被害件数  115件→0件  高齢者虐待について理解できていない  介護者の割合※  20.4％→0％  成年後見制度の認知度※  29.7％→40.0％ |